



〔問①〕大分県内にある、西日本有数のぶどうの産地はどこですか。

〔問②〕その町でハウス栽培しているぶどうの種類はなにですか。

〔問③〕ぶどうの出荷先はどこですか。

〔問④〕あなたの好きな果物は何ですか。また、その果物が生産されている産地はどこか調べてみよう。

たわなに実ったデラウェアの収穫を楽しむ園児
19日午前、宇佐市安心院町中山、撮影・首藤洋平



「加温デラウェア」初出荷式

色も甘さも安心院品質

【宇佐】西日本有数のブドウ産地、宇佐市安心院町で19日、ハウスで育てた「加温デラウェア」の初出荷式があった。今年は5月中旬以降に好天が続いたことから着色、糖度ともに良好という。

J Aおおいた安心院ぶどう部会（小野次信部会長、96人の安部幸太さん（38）のブドウ園（同町中山）でセレモニーがあり、同J Aや県、市から約20人が出席。小野部会長（74）らが「高品質のブドウを県内、全国に届けます」とあいさつ。地元産のぶどうジュースで乾杯した。

安心院こども園の園児17人がハウス内でブドウを摘み取った。安部さんの長男恭介ちゃん（6）は「ブドウは大好き。いつも食べている。摘み取るのも楽しかった」と声を弾ませた。

同部会によると、本年度のブドウの栽培面積は94畝。計226トンの生産を見込み、県内を中心に九州一円や大阪、東京に出荷する。

デラウェアは8月中旬まで、ピオーネやシャインマスカットなどは7月から10月下旬ごろまで出荷が続く。

（小田原大周）